

1月7日：VN指数は反落。中小型株が好調でHNX指数、UpCOM指数は上昇

利益確定売りに押され、VN指数は反落した。一方でHNX指数、UpCOM指数はともに上昇した。

ホーチミン市場のVN指数は0.01%（0.09ポイント）安の1,528.48ポイントで取引を終えた。同指数は午前の取引で1.5ポイント下落していた。

出来高は前日比で減少し、さらに値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回った。売買高は10億株を超え、売買代金は約32兆ドンとなった。

大型株の多く、特に不動産、銀行セクターは弱い値動きでマーケットの重しとなった。VN30指数は0.82%（12.71ポイント）安の1,532.24ポイントで引けた。

同指数採用銘柄のうち、21銘柄が下落、8銘柄が上昇、1銘柄は変わらずだった。

ビンググループ（VIC）は2.2%安と大きく値を下げた。他にもヴィエティンバンク（CTG）、ノバランド不動産投資グループ（NVL）、VPバンク（VPB）、シーバンク（SSB）がそれぞれ1.56～3.41%下落した。

ビンコムリテール（VRE）、テクコムバンク（TCB）、TPバンク（TPB）、サコムバンク（STB）、モバイルワールドインベストメント（MWG）も軟調で、指数の重しとなった。

だが、その一方で大型株の一部銘柄に買いが入ったことで、指数は下げ幅を縮めた。

vietstock.vnのデータによれば、ペトロベトナムガス（GAS）は3.66%高と上げ幅を拡大させ、それに続き、ベトナム投資開発銀行（BID）、DIC不動産（DIG）もそれぞれ上昇した。その中でもベカメックス IDC（BMC）とDIC不動産はそれぞれ7%のストップ高をつけた。

またハノイ市場のHNX指数は続伸した。同指数は週間で1.85%（8.95ポイント）上昇し、493.84ポイントで年初最初の週の取引を終えた。

売買代金は約 4 兆 4,000 億ドン、売買高は 1 億 5,330 万株となった。

UpCOM 指数は 1.06% (1.21 ポイント) 高の 115.6 ポイントだった。

「今後、投資資金は中小型株に向かうだろう。さらに長期で銀行セクターの大型株を中心に資金がシフトしている」 (MB 証券のアナリスト、デイリーレポートにて)

外国人投資家はマーケット全体で合わせて 4,006 億 7,000 万ドンを売り越した。

そのうち、ホーチミン市場で 4,770 億 7,000 万ドンを売り越し、ハノイ市場、UpCOM 市場でそれぞれ 667 億ドン、97 億ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。